

2014年度秋学期アジア文化概論 II (東南アジア古典文化論) 期末レポート課題

教員：青山 亨 (633 研究室)

課題配布日：2015 年 1 月 22 日.

課題提出日：2015 年 2 月 5 日(木)4 限授業時間中

課題：以下の二つの課題の答えを指定の形式にしたがって別紙に記しなさい。

レポートの形式：A4 判 3 ページ以内。1 ページの上部に「2014 年度東南アジア古典文化論 秋学期期末課題」と書き、氏名・学籍番号を明記し、左上をホッチキス止めすること。

注意：提出されたレポートは新年度になった時点で廃棄します。返却を希望する人はその旨を注記し、2 月 27 日までに 633 (ドアボックス) に受け取りに来てください。

1) 右の上の図はインドネシアの国章、右の下の図はタイの国章である。いずれもヒンドゥー教の神話に出てくるガルダの姿が描かれている。しかし、現在のインドネシアの人口の 88%がイスラーム教徒、タイの人口の 95%が仏教徒である。このように、現在の東南アジアで、イスラームや仏教が多数派を占める国においてもヒンドゥー教に由来するシンボルが使われている背景には東南アジアの「インド化」(Indianization)がある。この歴史的現象について、予備知識のない人(この授業を受けたことのない人)にもわかるように、説明しなさい。



2) 東南アジア以外の他の地域・時代においては、ヘレニズム化 (Hellenization)、中国化 (Sinicization)、ローマ化 (Romanization) などと呼ばれる歴史的現象がある。このような他地域・時代の現象の一つを選び、それとの比較でインド化の特徴を説明しなさい。

なお、1)と 2)は関連しているので、1)の説明をふまえて、2)の説明を書きなさい。また、両者の関係が明確であれば、1)と 2)を一つにまとめてもよい。